

五月十六日

十時前研究室。十時定例。十時半学務。十二時半修了。昼食は室内でサンドイッチとミルク。十四時映像館の方取材。ケーブルTVのネットだそう。女性一人がカメラをまわし、同時にインタビューはさぞかし大変だろう。十五時半北京の件打合わせ。十七時INAXビルの座談会へ。

十六時若松氏来室、北京のビジネスモデルの打合わせ。十七時半過、京橋INAXショールーム。リノベーション・フォーラム難波和彦松村修一両先生及び太田君と会う。十八時より一時間小レクチャー。三先生と雑談。二〇時過修了。修了後パーティー。その後三先生と近くの飯屋で飲む。二十三時半世田谷村に戻る。明日の午後から、北京へオリンピックサイトを訪ね、李祖原北京事務所と打合わせ後、香港で北京M社オーナーとハードな会合を持つスケジュールとなった。マ、存分に闘ってこようという気分である。〇時二〇分休む。

五月十七日

七時前荷づくり。朝食、ホウレン草、玉ネギ、ヒラメ、白飯。今日、明日はハードだ。しっかり腹ごしらえをしておこう。八時二〇分発。九時半研究室。高橋君が頑張ってCEMAモデルを作成してくれた。九時半磯崎アトリエ山本君磯崎宙君来室。ウズベキスタンPについて、概要を聞く。十時五〇分学部講義。提出物の発表とクリティーク。十二時二〇分迄。十四時迄北京・香港プ

レゼンテーション準備。十四時過研究室発新宿へ、十四時四十二分NRTエクスプレスで成田へ。十七時五〇分JL<sup>789</sup>便で北京へ。新宿駅で成田エクスプレスを待つていたら、小学校の時の同級生だった橋爪君に声を掛けられた。四十数年振りの再会である。ビックリした。何かいい風が吹くような気がする。勝手ながら。

二〇時三五分北京空港着。先週の台北便と違いJALは北京便には新鋭機を充てている。ビジネスクラスも満席であった。李祖原とスタッフ空港内まで迎えに来てくれる。飛行機のドアを出たらずぐに居たので、マ、驚いた。大きな車に乗せられてホテルへ。クラウンホテル、これもデツカイホテル。すぐに小食を摂りながら打合わせ。北京市、及び中国政府の電子部分への許可を取るのに金がかかるかも知れないとの事。明日のスケジュールを決めて、休む。李も同じホテルである。アンにも再会。二十二時四〇分シヤワーも使わず寝る。